

性行為で
感染する
病気への対策
してますか？



A型肝炎が
主に男性間で
流行っています。
ワクチン接種で
感染を予防しよう!

日本でA型肝炎が流行しています

ここ数年、東京都、神奈川県、大阪府などの都市部を中心に日本国内の複数地域よりA型肝炎の発生が報告されました。

東京都内では2018年には

約400人を超える感染者が報告されました。

過去の主な感染ルートは、

A型肝炎ウイルスに汚染された水や食品が原因でした。

例えば、加熱しない魚介類(カキ)や、井戸水、

飲食店などにおける集団感染でした。

しかし、今回の流行は、

性行為(主に男性間の)による感染が多いのが大きな特徴です。

世界的な流行

2017年6月7日に、FORTHという厚生労働省の検疫情報管理室が海外渡航者むけに開設するwebに、A型肝炎への注意を促すニュースが掲載されました。2016年6月から翌年5月にかけて、ヨーロッパ内の15カ国、またアメリカ大陸(アメリカ合衆国およびチリ)で主に男性と性交渉をする男性(MSM)の間でA型肝炎患者が異常に増加していることがWHO(世界保健機関)により報告され、流行が発生している地域に旅行するMSMに対し、ワクチンを接種するよう注意を喚起しました。

A型肝炎ウイルスの特徴

A型肝炎ウイルスは酸に強く、アルコールにも耐性があります。不活化には十分な加熱(85℃で1分以上)などが必要です。口から体内に入ったウイルスは消化管内で不活化されずに、糞便とともに排出されます。潜伏期間は2~7週間です。下痢、発熱(最初38℃以上の熱が3、4日続く)、けん怠感、吐き気・おう吐、黄疸、肝臓が異常に腫れるなどの症状が出ます。

A型肝炎ウイルスの予防

我が国では1994年に成人用(16歳以上)ワクチンが認可されました。2~4週間間隔で2回接種し、更に6か月を経過した後に追加接種することによって、ほとんどの方は十分な防御抗体を得ることができます。

2003年に実施された調査から推測すると、現在65歳以下の約98%の人にはA型肝炎ウイルス抗体がないと予測されます。

●経験者の声

2018年2月末、風邪症状が無いにも関わらず高熱が出ました。主治医のところで受診しましたが、インフルエンザではなかったので解熱剤を処方されました。しかし、解熱剤の効果がなくなると熱が上がる目が続き、吐き気も感じるようになりました。

仕方なく他のHIVを治療しているクリニックに相談したところ、すぐにA型肝炎の可能性があると血液検査をし、翌日には大学病院を紹介されて即入院となりました。

(50代 男性 東京都)

A型肝炎の感染経路

A型肝炎の感染力は強く、肛門周囲をなめるなどの行為だけでなく、肛門に触れた性器や肛門部に触れた指・体に付着した部分をなめる(口にいれる)などを通じて感染します。また、排便後の手洗いが不十分な場合は、食べ物を通して感染することもあります。

◎経験者の声

感染し、3週間入院～自宅療養で仕事を休みました。高熱に激しい吐き気もつらかったです。パートナーにも同じ苦しみをさせてしまい、申し訳ないことをしました。まだA型肝炎に感染していない方々には、ぜひワクチン接種をすることをおすすめします。

(50代 男性 東京都)



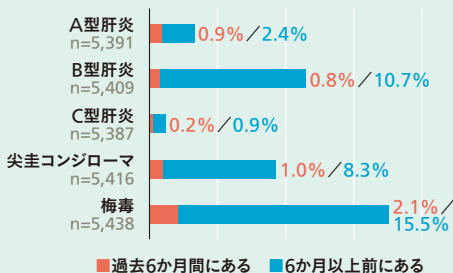
【顕性感染／けんせいかんせん】

細菌やウイルスなどに感染したとき、症状があらわれる場合を顕性感染といいます。B型肝炎ウイルス(HBV)では、主要な症状として、発熱や全身倦怠感、関節痛などのインフルエンザに似た症状や黄疸などがあらわれます。逆に、感染しているにもかかわらず症状があらわれない場合を不顕性感染(ふけんせいかんせん)といいます。HBVでは、80～90%が不顕性感染の経過をとるとわれています。一方、A型肝炎ウイルス(HAV)の場合は顕性感染の頻度が高く、不顕性感染は20%程度といわれています。

いろいろな性感染症

2018年11月に実施された日本在住ゲイ男性向けのアプリ利用者を対象としたPrEP調査(回答者6,467人)の中間報告によると、約1%が過去6ヶ月以内にA型肝炎、B型肝炎、尖圭コンジローマにかかったことがあると回答し、6ヶ月以上前だと、約11%がB型肝炎に、2.4%がA型肝炎、8.3%が尖圭コンジローマ(HPV)にかかった経験を持っていました。また、梅毒は過去半年に2.1%、6ヶ月以上前だと15.5%が感染した経験を持っていました。

かかったことがある病気



ワクチンで予防できる病気もある

回答者全員のうち、ワクチンの接種経験があるのは4,014人でした。そのうち、A型肝炎は406人、B型肝炎で658人、HPVは64人が接種の経験がありました。

A型、B型肝炎は、ワクチンを接種することで、感染を防ぐことができます。また、海外ではHPVワクチンの接種により、肛門がん・陰茎がんなどの予防に有効であるとの報告もあります。

(回答者6,467人のうち、無回答者は2,233人でした)

ワクチンを接種した経験

A型肝炎	406人
B型肝炎	658人
HPV(ヒトパピローマウイルス)	64人
インフルエンザ	3,859人
その他	78人

合計：何らかのワクチンを受けた人 ……4,014人

2018年11月に実施した出会い系アプリ利用者を対象にしたPrEP調査(PrEPについてのアンケート調査)の中間報告。
平成30年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業
「日本在住MSMのPrEP(曝露前予防)に関する意識や行動に関する研究」

ワクチンで予防できる性感染症

A型肝炎の感染経路は、汚染された食物などを摂取することによっておこる感染、ウイルスが付着した手で口に触れることによる感染があります(経口感染)。また、性的接触による感染(糞口感染)もあります。

A型肝炎に感染した場合、症状が現れる前からウイルスは便に排出され、症状が治まった後も長い期間、便から排出されています。周りの人への感染を防ぐために、トイレの後や調理・食事の前等、性行為の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。

A型肝炎

潜伏期間は平均28日(15~50日)です。急な発熱や倦怠感、頭痛、吐き気・おう吐、下痢、腹痛などの症状が出ます。特効薬による治療法はなく、安静や点滴などの対症療法によって自然治癒を待つこととなります。A型肝炎は慢性化することはない、また、患者全体での致死率は約0.3%ですが、60歳以上では死亡リスクが高くなることが報告されています。

●ワクチン接種の体験談

SEXをする事があるので信頼をおける人との行為だとしても何が起るか分からない事や酔った勢いで不特定の方と接触した場合の事を考え、自分を守ろうと2018年12月頃にて接種しました(HIVの感染原因も付き合っていた人からだと考えていますが、それを思い出すと信用出来る事は何も無いという現実を実感します)。それに加え金銭的にも余裕がある時という事も一因としてあります。HIVの感染が発覚してから6年以上経過しており、SEXに関して少しずつ寛容的になっている自身に恐怖はあります。(20代 男性 東京都)



B型肝炎

潜伏期間は約3か月間(30~180日)です。全身の倦怠感や発熱、悪心・おう吐、腹痛などの症状が出ます。急性の場合、通常1~2ヶ月ほどで全快に向かいますが、約1%の頻度で劇症化。もしも劇症化してしまうと、死亡に至る場合もあります。

接種可能なワクチン

いずれのワクチンも保険対象外であり、実費負担となりますが、感染予防に極めて効果的です。備蓄状況、値段は施設によってバラツキがあるので、事前にwebや電話で確認しましょう。また、年齢制限がある場合があります。

国内産 A型肝炎ワクチン

接種回数：3回

(初回・初回から2～4週間後・第二回から6～24ヶ月後)

抗体持続期間：約5年間 (3回接種後)

費用：3回で合計20,000円程度

(一回につき約6,000～9,000円)

国内産 B型肝炎ワクチン

接種回数：3回

(初回・初回から4週間後・第二回から5～6ヶ月後)

抗体持続期間：約5年間 (3回接種後)

費用：3回で合計20,000円程度

(一回につき約5,000～8,000円)



輸入ワクチンについて

A型およびA型肝炎・B型肝炎混合ワクチンには、国内産のほか輸入ワクチンという選択肢もあります。輸入A型肝炎ワクチンの場合、接種回数は2回で抗体持続期間は約15年、輸入A型肝炎・B型肝炎混合ワクチンの場合は接種3回で抗体維持期間は15年～20年程度となります。価格は、いずれも一回約10,000円程度です。

輸入ワクチンは国内未承認であるため、お住まいの地域によっては最寄りの医療機関で取り扱いがない場合があります。また、輸入ワクチン接種のために重篤な健康被害が生じた場合には、補償を受けるまでのハードルが国内ワクチンに比べて非常に高い場合もあります。

「すでにB型肝炎に感染して、十分な抗体ができている人もいます。抗体の有無は検査にて確認できるので、抗体がついている人はA型肝炎のみを接種することになります。ちなみに、A型とちがって、B型肝炎ワクチンは一般でも接種しても抗体のつかない人もいます。HIV感染があり免疫低下があれば、その割合はさらに高くなる場合があります。詳しくは、主治医と相談しましょう」(今村顕史 医師)

HPVワクチン

性行為がある人は、誰でもHPV(ヒトパピローマウイルス)に感染するリスクがあります。男性の多くも女性と同様に感染します。肛門がんの90%と陰茎がんの40%はHPVが原因です。HPV(子宮頸がん)ワクチン(GARDASIL4価)の男性への接種は国内未承認です。海外では、コンジローマや肛門がん、陰茎がんにも有効だといわれています。さらに、HPVの9価ワクチン(GARDASIL9価)が推奨されていますが、国内未承認で、接種対象年齢に制限がある場合があり、値段も高価です。

「効果の持続期間については、免疫状況によっても異なり、十分なデータがありません。国内では男性への接種は未承認のため、副作用時の補償がない状況です。このワクチンは、癌やコンジローマの原因となるウイルスの感染を防ぐために接種されます。したがって、既に性行為で感染しているウイルスを消失させる効果はありません」(今村顕史 医師)

ワクチンはどこで接種できるの？

ワクチンは全国のトラベルクリニックで接種が可能。HIV陽性のかたは、ご自身の免疫機能の状態によってワクチンの適応や投与回数が異なる場合がありますので、主治医と相談しましょう。また、医療機関により、値段や在庫の違いがあります。また、最寄りの医療機関で輸入ワクチンの取り扱いがない場合があります。

最寄りのトラベルクリニックへ

全国のトラベルクリニックでワクチンを接種することができます。

最寄りの診療所や診療内容の詳細については、

●日本渡航医学会ウェブサイト

「学会推奨 国内トラベルクリニックリスト」

<http://jstah.umin.jp/02travelclinics/>

または

●厚生労働省検疫所FORTH

「予防接種実施機関」

<https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>

以上をご参照ください。

ワクチンは必ず規定の回数を接種しましょう。

そうしない場合、抗体が十分に作られない

場合があります。



トラベルクリニックで
ワクチン接種の希望理由を
どう伝えれば？

いざワクチンを接種したいとトラベルクリニックを訪れたとしても、医師にその理由をどう伝えたらよいか悩んでしまう方がいるかもしれません。

診察の時点で理由をたずねられることがありますが、ワクチン接種の目的を「性感染症予防のため」と伝えにくい場合、海外への渡航を理由として申告（たとえば「数ヶ月以内に東南アジアへ渡航する予定です」など）したとしても、医師から証明などを求められることはありません。



●HIVの総合情報サイト「HIVマップ」 <http://www.hiv-map.net/>

ゲイ・バイセクシュアル男性をはじめ、全ての人にすぐに役立つ

予防・検査・相談・支援の窓口や基礎知識など。



ワクチンの接種と健康被害に対する補償

国産ワクチンは、国内で使用されている多くの医薬品同様、臨床試験を行い、有効性や安全性が評価された上で、日本政府の承認を得たものです。国内未承認の輸入ワクチン等については、そうしたプロセスを経ていないため、副作用発生時の「医薬品副作用被害救済制度」（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）の対象になりません。接種を依頼する医師とよくご相談ください。



ワクチン接種の体験談

七 イファセックスは感染症予防に効果は大きいですが、いつも完璧に出来るかどうかは自信がなかったので、今回、接種した。ワクチンも3回の接種のための時間やその都度費用は掛かるが、感染した時に掛かる入院や治療にかかる時間や費用に比べてはるかに負担も少ないと思う。ワクチンで防ぐ方法があるなら、自分の身を守る為に今後も取り入れていきたい。

(40代 男性 埼玉県)

海 外旅行に行く前、行き先の国がA・B型肝炎の予防接種をしておいた方が良いと指定されていた国だったので、近所のクリニックで1回目の接種。2回目、3回目は、ハガキで連絡しますと言われていたのですが、ハガキが来ることはなく、すっかり2、3回目の接種を忘れてしまいました。

数年後、転院の際、A型肝炎のワクチンを打っておいた方がいいですよと言われていたのですが、次の血液検査で抗体が既にあることが判明。気がつかなかったんですねと呆れられました。風邪のような症状がしばらく続いていたはずのこと。風邪を元々気にしない性格なので、また、症状がひどくならなかったこともあって見過ごしてしまっていました。

(40代 男性 東京都)

流 行しているという情報を得て不安になったので自分から担当医にお願いして接種しました。もともとCD4が50を切っている低い状態でHIV感染を知ったので、先生と相談し、200に上がるまで様子を見てから接種しました。合計三回（初回、1ヶ月後、半年後）ワクチン接種が必要とすることで、現在二回目までが終わっているところです。

私自身も今後色々ワクチン接種をしていこうと考えています。

(30代 男性 神奈川県)

地 できる医者を探すのに苦労しました。近くでもらえる医院を見つけたのですが、B型肝炎しかやったことがなく、A型肝炎は勝手がよく判らないと言われて困りました(笑)。結局、処方通りに2回目は1か月後、3回目は半年後にとお願いして、1回目の接種を済ませました。

ここを見付ける前に問い合わせた医療機関は、平日午前中だけとか、かなりの高額だったり、B型肝炎と違ってA型肝炎ワクチン接種はレアケースに思えました。ゲイフレンドリーな診療所があれば助かるんだけど、自力で探すしかないのがキツイです。

(50代 男性 兵庫県)

ネットで知り合った人たちと、10名ほど肉
体関係をもっていて、コンドームを使用していま
せんでした。14年ほど前、大学4年の時に、体調
不良が続き、黄疸がでて、近所のクリニックから
総合病院を紹介されて、そのまま入院になり、
1ヶ月ほど入院して、投薬などもなく。ひたすら安
静にしていたら、症状も落ち着き、退院しました。
数回、経過観察で通院しましたが、幸いにも抗
体がつき、慢性化せずに良くなりました。

その全員に、伝えるのが、入院中、一番大
変だったことと、パートナーに感染させてしまっ
ていたこと、セクシャリティや病名を病院内で家族
や見舞客に分からないように配慮してもらうことな
ど、心労が絶えず、思いのほか入院が伸びまし
た。(30代 男性 東京都)

ハッテン場での感染です。体がだるい
ので病院に行ったら最初は梅毒の診断
をされました。その後1週間たっても症状
が治らず、悪化するだけだったので病院
に行ったら、A型肝炎の診断がされその
まま入院になりました。(40代 男性 茨城県)

性行為の際、相手のステイタスがわ
からないのであれば、リミギはしない方
が良いと思います。ワクチンの、2・3回
目の接種を忘れないようにしましょう。
(40代 男性 東京都)

その他の体験談から

以前の拠点病院での接種指導はおそらく患
者ごとの個性に応じた指導なのかもしれませんが、
転院後に通う拠点病院ではかなり積極
な接種指導がされています。私は以前の通院
先では自ら接種を申出、3回目は転院後の拠
点病院で行いましたが、副作用があり、翌日ま
で微熱が出てしまい、きつかったです。予防接
種で防げる病気への自覚がもっと必要だと思
うのですが、様々な、個性が強いゲイがど
れだけ冷静に自分の置かれている立場・状
況を理解し、どこかまで予防行動を出来る
のか? という意識を持つ必要があると思
いますが、なかなか難しいですね。
(50代 男性 東京都)

制作：特定非営利活動法人ぶれいす東京

<https://www.ptokyo.org>

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-11-5 三幸ハイツ403

Tel:03-3361-8964 (月～土 12-19時 ※祝祭日を除く)

編集：生島嗣、佐々木大志郎

デザイン：加納啓善

イラスト：しらいしろう

協力：四柳宏(東京大学医科学研究所)、山口正純(武南病院)

発行年月：2019年3月

このパンフレットは以下の研究費で制作しました。

平成30年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「HIV検査の受検勧奨のための性産業の事業者及び従事者に関する研究」

研究代表者：今村 顕史(がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科 部長)

データ：H30 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業 日本在住MSMのPrEP(曝露前予防)に関する

意識や行動に関する研究：分担研究者：生島嗣(特定非営利活動法人ぶれいす東京代表)

